

昭和電線グループ「健康経営宣言」

昭和電線グループは「従業員の心身の健康の向上とワークライフバランスの促進」を重要な経営課題として位置付け、「健康経営」を積極的に推進します。

昭和電線グループの経営方針である「人間尊重の立場にたって、明るく働きやすい職場をつくり、従業員の自主性と積極性を高める」ことを基本に、従業員ひとり一人が心身共に健康で生き活きとやりがいを持って働くことのできる環境づくりに取組んでまいります。

さらに安全衛生活動や環境管理活動の取組み推進とも連携し、明るく快適な職場づくりと健康支援活動・健康指導を積極的に推進してまいります。

2019年4月1日

昭和電線ホールディングス株式会社

取締役社長 長谷川 隆代

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

【2021年度 主な施策】

- 働き方改革への取り組み
人事制度改革にあわせて部門毎の「業務効率化」を推進し、「従業員のワークライフバランス」と「企業の生産性向上」を実現します。
- 健康増進のための意識改革
健康サービスの拡充による一人ひとりの健康意識の向上とともに、健康活動を支援し、健康で安心して働くことのできる環境づくりを行っていきます。
- 保健指導の推進
定期健康診断後の再検査、精密検査の結果を踏まえ、保健指導等の実施を通じて、従業員の健康増進を図ります。
- 社内全面禁煙化の推進（禁煙宣言 2023 年度目標）
喫煙者および非喫煙者の双方がお互いの立場を理解したうえで、就業時間内は全面禁煙とする職場環境を整えていきます。

昭和電線グループ 健康経営推進体制

